

経営比較分析表（令和2年度決算）

青森県平内町 国保平内中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員 民間企業出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	-	訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
10,639	6,364	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

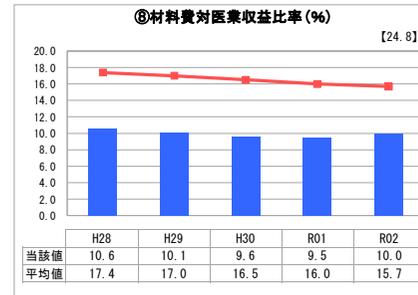
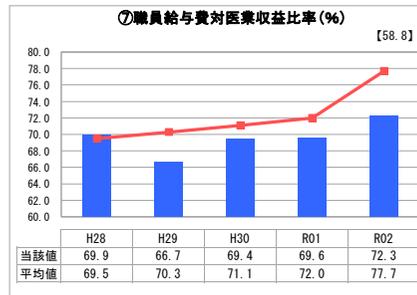
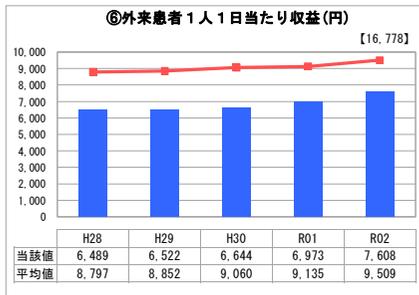
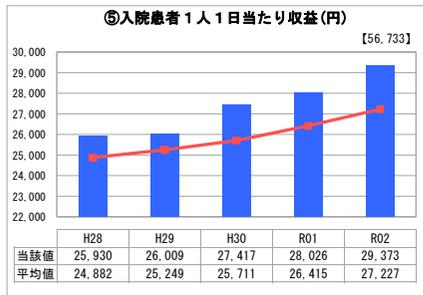
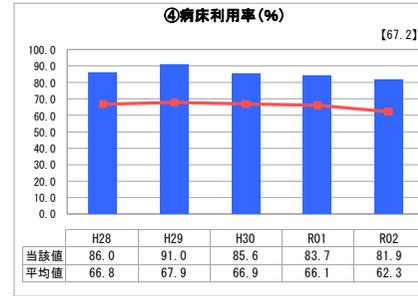
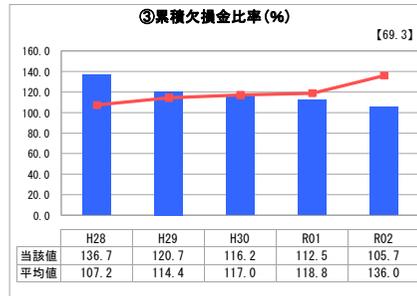
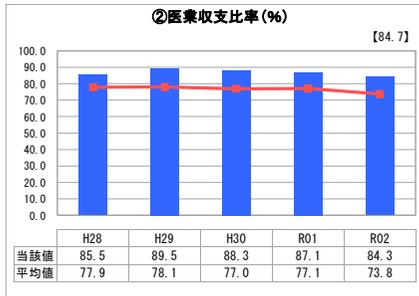
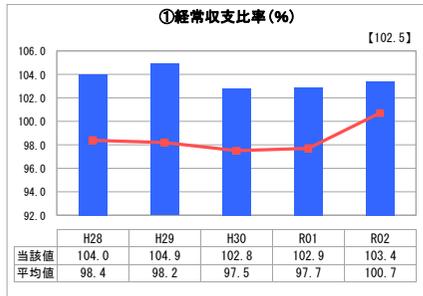
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
48	48	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	96
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
48	48	96

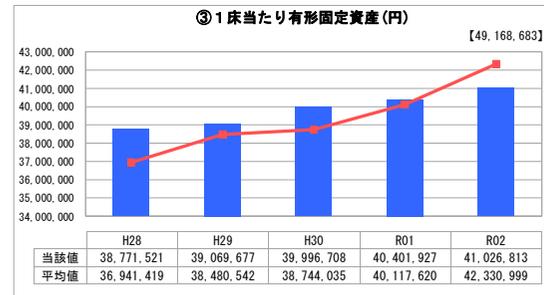
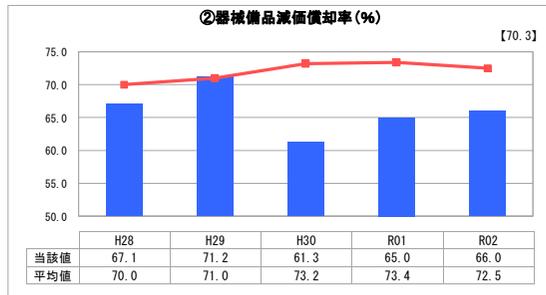
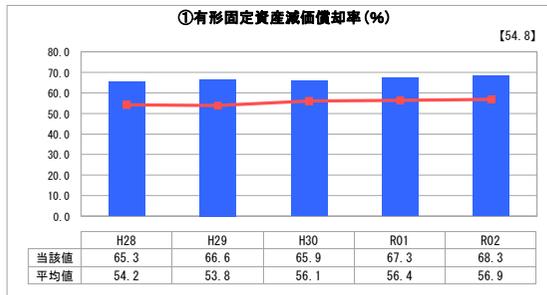
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

町内唯一の病院として二次救急医療機関としての役割を担いながら、青森地域保健医療圏では後方支援病院として、回復期・慢性期医療を提供している。また、在宅復帰を支援するため、在宅医療（訪問診療、訪問看護、訪問薬剤指導、訪問リハビリテーション）にも積極的に取り組んでいる。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成26年10月に地域包括ケア病床を導入して以降、病床利用率は類似病院・全国平均を上回り、高い水準を維持し安定した収益の確保につながっている。このことにより、経常収支比率は改善傾向にあり、また、患者一人あたりの収益も増加傾向にある。令和2年4月から常勤医を1名採用し医療体制確保に努めたところであるが、新型コロナウイルス感染症の影響などもあり、患者数は減少傾向にあり、医療収支比率、給与費比率、材料費比率とも令和元年度に比べ数値改善には至らなかったものである。累積欠損金比率については、年々減少し、類似病院平均を下回ったが、今後も経営改善を継続しつつ、累積欠損金の解消に努めていかなければならない状況である。

2. 老朽化の状況について

平成8年4月の移転新築後から、約25年が経過しており、建物、設備及び医療機器を中心に老朽化が進んで維持管理費が増加傾向にある。これに伴い、有形固定資産減価償却率が全国平均を上回り老朽化を裏付けている。器械備品減価償却率は、平成30年度は電子カルテを導入し一時的に下がったものの、1床当たり有形固定資産は年々上昇傾向にある。特に令和2年度は新型コロナウイルス感染症関連の医療機器等を整備したことも影響している。今後も必要最低限のものを取捨選択し、経営状況とのバランスを考慮しながら計画的かつ効率的な維持管理を実施していく必要がある。

全体総括

現状では、経営の健全性は概ね確保されていると考えているが、今後は、人口減少による医療ニーズの低下も懸念されることから、引き続き訪問診療など在宅医療を行いながら、必要な医療提供を着実に実施していきたい。一方で、施設の経年劣化に伴う維持管理費用の増加が見込まれることから、当院を取り巻く経営環境は一層厳しさを増していくと考えられる。令和2年度は新型コロナウイルス感染症関連の医療機器等を整備し1床当たり有形固定資産も増加傾向にあるが、今後も、施設設備等の延命化などの工夫により支出を抑えつつも、収入の確保に努め、更なる経営努力をしていく必要がある。